

2025 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	岩村 英之
演習テーマ	AI（人工知能）と社会
演習の内容	<p>これから数十年間で、AI（人工知能）が私たちの社会に大きな変化をもたらすと言われています。</p> <p>すでに、これまで「人間にしかできない」と考えられてきたタスク—自動車の運転や異なる言語間の翻訳など—が、AIによって実用に耐えるレベルで実行できるようになってきています。数年前には、アメリカに存在する職業の 47 パーセントが数十年のうちに機械やコンピュータによって自動化されるリスクがある、という衝撃的な研究が話題になりました。本当に、半分の仕事が機械に取って代わられるのでしょうか。そうなったら、私たちは何をして生活の糧を得るのでしょうか。</p> <p>この演習では、AI が私たちの仕事や生活、社会全般に及ぼす影響について考えていきます。そして、わたしたちひとりひとりが AI 社会にどう備えることができるかも考えてみましょう。具体的な問いとしては、たとえば以下のようなものがあり得るでしょう。</p> <p>(1) AI に代替されやすい仕事、されにくい仕事はどんなものか。</p> <p>(2) 仕事や生活で AI をどのように活用できるか（味方につけられるか）。</p> <p>(3) AI の普及によって社会の仕組み（政治、経済）はどう変わるか。</p> <p>(4) AI の普及によって私たちは今ほど働かなくてよくなる（働けなくなる）のか。あるいは、ほとんど働かなくてよくなる（働けなくなる）のか。</p> <p>(5) そうなったとき、私たちは何をして過ごすのか。そのような社会で何から充実感を得るのか。そもそも生活できるのか。</p>
テキスト・参考書	<p>【参考書】（一部）</p> <p>[1] 松尾豊（2015）『人工知能は人間を超えるか』（角川 EPUB 選書） KADOKAWA</p> <p>[2] サスキンド（2022）『WORLD WITHOUT WORK : AI 時代の新「大きな政府」論』みすず書房</p> <p>[3] 今井翔太（2024）『生成 AI で世界はこう変わる』SB 新書</p>
成績評価の基準	発表（2回程度）と期末レポートに 40 点ずつ配分します。残りの 20 点は、どれだけ独自に勉強したかを、他の発表者へのコメント等から評価します。自分で勉強をすすめることを高く評価します。
校外実習	実施しない。
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	

選考方法	<p>小論文と面接によって選考します。      面接は 10~15 分程度、小論の内容等お話ししてください。      5 月 25 日 21 時に、面接の予約ページの URL を出願者の大学メールアドレス宛にお知らせします。</p>
小論文 (テーマ、書式・枚数、 提出期限・方法)	<p><b>【テーマ】</b>      AIについて、あなたがどのような関心を持っているか説明してください。たとえば、「AIがエンターテインメントをどう変えるのかに関心がある」とか、「AIによって教師が不要になるのではないかと心配している」等。書籍や記事等を参考にした場合は、それを明記してください。</p> <p><b>【様式・分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Word で 1,000~2,000 字程度にまとめてください。</li> <li>冒頭に学籍番号と氏名を記載してください。表紙は不要です。</li> </ul> <p><b>【提出期限・方法】</b>      申込書といっしょに manaba に提出してください。</p> <p>* 申込書の自己紹介欄については、皆さんにお任せします。書いていなくとも不利にはなりません。書いてあれば楽しく読みます。</p>
メールアドレス	<a href="mailto:iwamura@k.meijigakuin.ac.jp">iwamura@k.meijigakuin.ac.jp</a>
説明会・ オフィスアワー	<p>下記の日程で説明&amp;相談会を実施します。気になることはなんでも聞いて/相談してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 5/12 (月) 12:45~13:10</li> <li>② 5/13 (火) 12:45~13:10</li> <li>③ 5/15 (木) 12:45~13:10</li> <li>④ 5/16 (金) 12:45~13:10</li> <li>⑤ 5/19 (月) 12:45~13:10</li> <li>⑥ 5/20 (火) 12:45~13:10</li> <li>⑦ 5/21 (水) 12:45~13:10</li> </ol>
履修済・履修中で あることが望ましい	<p>場所は私の研究室（8号館4階8413）になります。狭いので、各回7名までとさせてください。参加を希望される方は下記から予約をお願いします（<b>修正しました</b>）。</p> <p><a href="https://airrsv.net/iwamura-seminar-mgu/calendar">https://airrsv.net/iwamura-seminar-mgu/calendar</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自、自分の分だけ予約してください。</li> <li>空いていれば当日も2時間前まで予約可です。</li> <li>前日23時までキャンセル可です。</li> <li>予約時に電話番号が要求されますが、適当な数字を10桁入れておいてください。決して本当の電話番号を入力しないように！</li> <li>万一、都合のよい時間に予約がとれなかったという場合は、メールでご相談ください。</li> </ul>

授業	
2026・2027年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	なし
認定留学期間中（演習2・3開講学期中）の <u>遠隔指導*</u>	可。 ただし、留学する可能性のある人は出願時にその旨明記してください。
備考	毎年、必要な数学について質問を受けますが、「特に必要ない」というのが私の答えです。数学をやりたい人はできますが、やりたくない人に無理強いはしません。最近は、文系の数学嫌いに配慮した人工知能本が毎月のように出版されています。

\*「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。